EMS設定

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

EMS設定

ONTAP EMS構成について学ぶ

早急な対応を要するシステムの問題を迅速に通知するために、イベント管理システム（EMS）の重要なイベント通知をEメール アドレス、syslogサーバ、簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）トラップホスト、またはWebフック アプリケーションに直接送信するようにONTAP 9を設定できます。

重要なイベント通知はデフォルトでは有効にならないため、Eメール アドレス、syslogサーバ、SNMPトラップホスト、Webフック アプリケーションのいずれかに通知を送信するようにEMSを設定する必要があります。

"ONTAP 9 EMSリファレンス"のリリース固有のバージョンを確認します。

EMSイベント マッピングが廃止されたONTAPコマンド セット（event destination、event routeなど）を使用している場合は、マッピングを更新することを推奨します。"廃止されたONTAPコマンドから EMS マッピングを更新する方法を学びます"。

System ManagerでONTAP EMSイベント通知とフィルタを設定する

早急に対応が必要なシステムの問題に関する通知を受け取るには、System Managerを使用してイベント管理システム（EMS）によるイベント通知の配信方法を設定します。

ONTAPのバージョン	System Manager を使用すると、次のことが可能になります…
ONTAP 9.12.1以降	リモートsyslogサーバーにイベントを送信するときに、トランスポート層セキュリティ（TLS）プロトコルを指定します。
ONTAP 9.10.1以降	電子メール アドレス、syslog サーバー、Webhook アプリケーション、および SNMP トラップホストを設定します。
ONTAP 9.10.0から9.7	SNMP トラップホストのみを設定します。他の EMS 送信先は ONTAP CLI で設定できます。"EMSの設定 - 概要"を参照してください。

EMSイベント通知の送信先の追加

System Managerを使用してEMSメッセージの送信先を指定できます。

ONTAP 9.12.1以降では、EMSイベントをTransport Layer Security（TLS）プロトコル経由でリモートsyslogサーバの指定ポートに送信できるようになりました。 `event notification destination create`の詳細については、"ONTAPコマンド リファレンス"を参照してください。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *通知管理*セクションで⋮をクリックし、*イベントの宛先の表示*をクリックします。
3. *通知管理*ページで、*イベントの送信先*タブを選択します。
4. ＋ Add をクリックします。
5. 名前、EMS送信先タイプ、フィルタを指定します。

   必要に応じて、新しいフィルターを追加できます。*新しいイベントフィルターを追加*をクリックします。

6. 選択したEMS送信先タイプに応じて、次の情報を指定します。

設定するには…	指定または選択…
SNMPトラップホスト	• トラップホスト名
Eメール （9.10.1以降）	• 送信先Eメール アドレス • メール サーバ • 送信元Eメール アドレス
syslogサーバ （9.10.1以降）	• サーバのホスト名またはIPアドレス • syslogポート（9.12.1以降） • syslog転送（9.12.1以降） *TCP暗号化*を選択すると、トランスポート層セキュリティ（TLS）プロトコルが有効になります。*syslogポート*に値を入力しない場合は、*syslogトランスポート*の選択に基づいてデフォルトが使用されます。
Webhook （9.10.1以降）	• WebフックのURL • クライアント認証（クライアント証明書を指定する場合）

新しいEMSイベント通知フィルタの作成

ONTAP 9.10.1以降では、System Managerを使用して、EMS通知の処理ルールを指定する独自のフィルタを新しく定義できます。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *通知管理*セクションで⋮をクリックし、*イベントの宛先の表示*をクリックします。
3. *通知管理*ページで、*イベント フィルター*タブを選択します。
4. ＋ Add をクリックします。

5. 名前を指定し、既存のイベント フィルタからルールをコピーするか、新しいルールを追加するかを選択します。
6. 選択したオプションに応じて、次の手順を実行します。

選択した場合…	次に、以下の手順を実行します。
既存のイベント フィルターからルールをコピー	1. 既存のイベント フィルタを選択します。 2. 既存のルールを変更します。 3. 必要に応じて、+ Add をクリックして他のルールを追加します。
新しいルールを追加	新しいルールごとに、タイプ、名前パターン、重大度、および SNMP トラップ タイプを指定します。

EMSイベント通知の送信先の編集

ONTAP 9.10.1以降では、System Managerを使用してイベント通知の送信先情報を変更できます。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *通知管理*セクションでをクリックし、*イベントの宛先の表示*をクリックします。
3. *通知管理*ページで、*イベントの送信先*タブを選択します。
4. イベントの送信先の名前の横にあるをクリックし、*編集*をクリックします。
5. イベントの宛先情報を変更し、保存 をクリックします。

EMSイベント通知フィルタの編集

ONTAP 9.10.1以降では、System Managerを使用してユーザ定義フィルタを変更し、イベント通知の処理方法を変更できます。

システム定義フィルタは変更できません。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *通知管理*セクションでをクリックし、*イベントの宛先の表示*をクリックします。
3. *通知管理*ページで、*イベント フィルター*タブを選択します。
4. イベント フィルターの名前の横にあるをクリックし、*編集*をクリックします。
5. イベント フィルター情報を変更し、保存 をクリックします。

EMSイベント通知の送信先の削除

ONTAP 9.10.1以降では、System Managerを使用してEMSイベント通知の送信先を削除できます。

SNMPの送信先は削除できません。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *通知管理*セクションでをクリックし、*イベントの宛先の表示*をクリックします。
3. *通知管理*ページで、*イベントの送信先*タブを選択します。
4. イベントの宛先の名前の横にあるをクリックし、次に 削除 をクリックします。

EMSイベント通知フィルタの削除

ONTAP 9.10.1以降では、System Managerを使用してユーザ定義フィルタを削除できます。

システム定義フィルタは削除できません。

手順

1. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。
2. *通知管理*セクションでをクリックし、*イベントの宛先の表示*をクリックします。
3. *通知管理*ページで、*イベント フィルター*タブを選択します。
4. イベント フィルターの名前の横にあるをクリックし、*削除*をクリックします。

関連情報

- "ONTAP EMS リファレンス"
- "SNMPトラップホストでイベント通知を受信するための設定（CLI）"

CLIによるEMSイベント通知の設定

ONTAP EMS構成ワークフロー

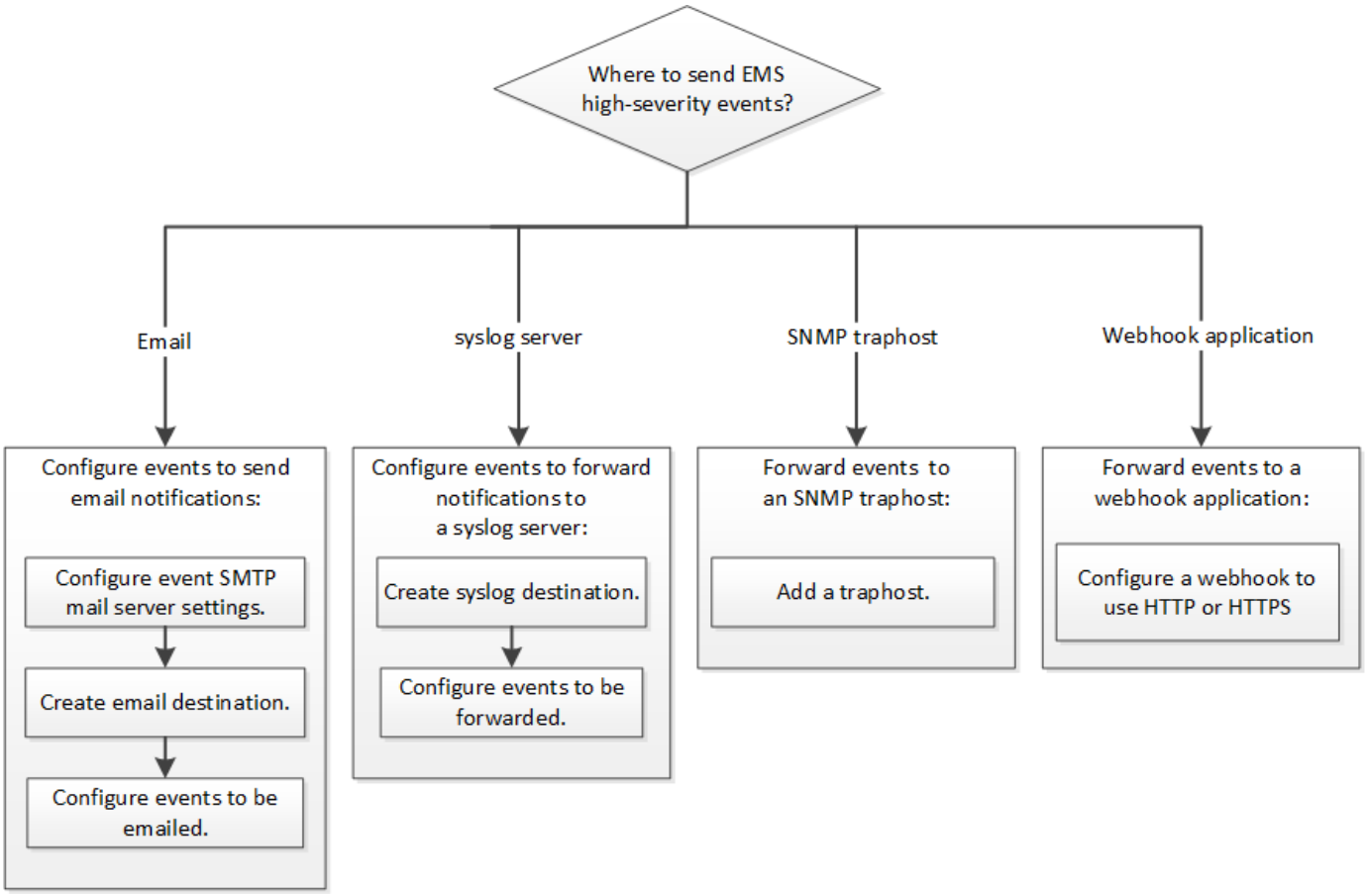
重要なEMSイベント通知は、Eメールで送信されるように設定するか、syslogサーバ、SNMPトラップホスト、Webフック アプリケーションのいずれかに転送されるように設定する必要があります。これにより、適切な修正措置を講じてシステムの停止を回避できます。

タスク概要

サーバやアプリケーションなどの他のシステムで記録されたイベントを集約するためにすでにsyslogサーバを使用している場合は、ストレージ システムの重要なイベント通知にもそのsyslogサーバを使用すると簡単です。

syslogサーバがまだない場合は、重要なイベントの通知にEメールを使用すると便利です。

イベント通知をすでにSNMPトラップホストに転送している場合は、そのトラップホストで重要なイベントについても監視できます。



オプション

- イベント通知を送信するためにEMSを設定します。

必要に応じて…	これを参照してください…
EMSの重要なイベント通知をEメール アドレスに送信する	重要なEMSイベントの通知をEメールで送信するための設定
EMSの重要なイベント通知をsyslogサーバに転送する	重要なEMSイベントの通知をsyslogサーバに転送するための設定
EMSのイベント通知をSNMPトラップホストに転送する	SNMPトラップホストでイベント通知を受信するための設定
EMSのイベント通知をWebフック アプリケーションに転送する	重要なEMSイベントの通知をWebフック アプリケーションに転送するための設定

重要な **ONTAP EMS** イベントを設定して電子メール通知を送信する

重要なイベントの通知をEメールで受信するには、重要なアクティビティを示すイベントに関するEメール メッセージを送信するようにEMSを設定する必要があります。

開始する前に

電子メール アドレスを解決するには、クラスター上で DNS を構成する必要があります。

タスク概要

このタスクは、クラスタの実行中であれば、ONTAPコマンドラインでコマンドを入力していつでも実行できます。

手順

1. イベント用のSMTPメール サーバを設定します。

```
event config modify -mail-server mailhost.your_domain -mail-from
cluster_admin@your_domain
```

`event config modify`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-config-modify.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

2. イベントの通知に使用するEメール送信先を作成します。

```
event notification destination create -name storage-admins -email
your_email@your_domain
```

`event notification destination create`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-notification-destination-create.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

3. 重要なイベントの通知をEメールで送信するように設定します。

```
event notification create -filter-name important-events -destinations storage-
admins
```

`event notification create`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-notification-create.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

重要な**ONTAP EMS**イベントを設定して通知を**syslog**サーバーに転送する

重大なイベントの通知をsyslogサーバに記録するには、重要なアクティビティを示すイベントに関する通知を転送するようにEMSを設定する必要があります。

開始する前に

syslogサーバ名を解決するために、クラスタにDNSが設定されている必要があります。

タスク概要

イベント通知用のsyslogサーバがまだない場合は、先にsyslogサーバを作成する必要があります。他のシステムのイベントを記録するためにすでにsyslogサーバを使用している場合は、重要なイベントの通知にも同じsyslogサーバを使用できます。

このタスクは、クラスタの実行中であれば、ONTAP CLIでコマンドを入力していつでも実行できます。

ONTAP 9.12.1以降では、リモートsyslogサーバの指定したポートにTransport Layer Security（TLS）プロトコル経由でEMSイベントを送信できます。次の2つのパラメータが新しく追加されました。

`tcp-encrypted`

`tcp-encrypted`が `syslog-transport`に指定されている場合、ONTAPは証明書を検証することで宛先ホストのIDを確認します。デフォルト値は `udp-unencrypted`です。

`syslog-port`

デフォルト値 `syslog-port`パラメータは、 `syslog-transport`パラメータの設定によって異なります。 `syslog-transport`が `tcp-encrypted`に設定されている場合、 `syslog-port`のデフォルト値は 6514 になります。

手順

1. 重要なイベントの転送先となるsyslogサーバを作成します。

   `event notification destination create -name` *`syslog-ems`* `-syslog` *`syslog-server-address`* `-syslog-transport {udp-unencrypted|tcp-unencrypted|tcp-encrypted}`

   ONTAP 9.12.1 以降では、 `syslog-transport`に次の値を指定できます：

   - `udp-unencrypted` - セキュリティのないユーザー データグラム プロトコル
   - `tcp-unencrypted` - セキュリティのない伝送制御プロトコル
   - `tcp-encrypted` - Transport Layer Security（TLS）を備えた Transmission Control Protocol

     デフォルトのプロトコルは `udp-unencrypted`です。

     `event notification destination create`
     の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-notification-destination-create.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

2. 重要なイベントの通知をsyslogサーバに転送するように設定します。

   `event notification create -filter-name` *`important-events`* `-destinations` *`syslog-ems`*

   `event notification create`
   の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-notification-create.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

イベント通知を受信するように**ONTAP SNMP**トラップホストを構成する

SNMPトラップホストでイベント通知を受信するには、トラップホストを設定する必要があります。

開始する前に

- クラスタでSNMPとSNMPトラップが有効になっている必要があります。

  SNMPとSNMPトラップはデフォルトで有効になっています。

- クラスタでトラップホスト名を解決するようにDNSが設定されている必要があります。

タスク概要

イベント通知（SNMPトラップ）を受信するSNMPトラップホストがまだ設定されていない場合は、SNMPトラップホストを追加する必要があります。

このタスクは、クラスタの実行中であれば、ONTAPコマンドラインでコマンドを入力していつでも実行できます。

手順

1. イベント通知を受信するSNMPトラップホストがまだ設定されていない場合は、SNMPトラップホストを追加する必要があります。

   ```
   system snmp traphost add -peer-address snmp_traphost_name
   ```

   SNMPでデフォルトでサポートされるすべてのイベント通知がSNMPトラップホストに転送されます。

重要な**ONTAP EMS**イベントを設定して、通知を**Webhook**アプリケーションに転送します。

重要なイベント通知をWebフック アプリケーションに転送するようにONTAPを設定できます。必要な設定手順は、選択するセキュリティのレベルによって異なります。

EMSイベントの転送を設定するための準備

イベント通知をWebフック アプリケーションに転送するようにONTAPを設定する前に、いくつかの概念と要件を確認しておく必要があります。

Webフック アプリケーション

ONTAPのイベント通知を受信できるWebフック アプリケーションが必要です。Webフックはユーザが定義するコールバック ルーチンで、リモート アプリケーションまたはサーバで実行してその機能を拡張します。Webフックは、クライアント（この場合はONTAP）が転送先のURLにHTTP要求を送信することで呼び出され（アクティブ化され）ます。具体的には、ONTAPが、Webフック アプリケーションをホストするサーバに、HTTP POST要求とイベント通知の詳細（XML形式）を送信します。

セキュリティ オプション

Transport Layer Security（TLS）プロトコルの使用方法に応じて、いくつかのセキュリティ オプションを使用できます。選択するオプションによって、ONTAPで必要な設定が決まります。

TLSは、インターネットで広く使用されている暗号化プロトコルです。1つ以上の公開鍵証明書を使用して、プライバシー、データの整合性、および認証を提供します。証明書は、信頼された認証局によって発行されます。

HTTP

イベント通知の転送にはHTTPを使用できます。この設定では、接続は安全ではありません。ONTAPクライアントとWebhookアプリケーションのIDは検証されません。さらに、ネットワーク トラフィックは暗号化も保護もされません。設定の詳細については、"Webフックの転送先でHTTPを使用するための設定"を参照してください。

HTTPS

セキュリティを強化するために、Webhookルーチンをホストするサーバに証明書をインストールできます。HTTPSプロトコルは、ONTAPがWebhookアプリケーションサーバのIDを検証するため、および両者がネットワーク トラフィックのプライバシーと整合性を確保するために使用されます。設定の詳細については、"Webフックの転送先でHTTPSを使用するための設定"を参照してください。

HTTPS相互認証

Webhook リクエストを発行する ONTAP システムにクライアント証明書をインストールすることで、HTTPS セキュリティをさらに強化できます。ONTAP が Webhook アプリケーション サーバの ID を検証し、ネットワーク トラフィックを保護することに加えて、Webhook アプリケーションも ONTAP クライアントの ID を検証します。この双方向ピア認証は、*Mutual TLS* と呼ばれます。設定の詳細については、"Webフックの転送先でHTTPS相互認証を使用するための設定" を参照してください。

関連情報

- "Transport Layer Security（TLS）プロトコル バージョン 1.3"

Webフックの転送先で**HTTP**を使用するための設定

HTTPを使用してWebフック アプリケーションにイベント通知を転送するようにONTAPを設定できます。これは最も安全性の低いオプションですが、設定は最も簡単です。

手順

1. イベントを受信するための新しい宛先 `restapi-ems`を作成します：

   ```
   event notification destination create -name restapi-ems -rest-api-url
   http://<webhook-application>
   ```

   上記のコマンドでは、宛先に **HTTP** スキームを使用する必要があります。

   > `event notification destination create`
   > の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-notification-destination-create.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

2. `important-events`フィルターと `restapi-ems`宛先をリンクする通知を作成します：

   ```
   event notification create -filter-name important-events -destinations restapi-
   ems
   ```

`event notification create`
の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/event-notification-create.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

Webフックの転送先で**HTTPS**を使用するための設定

HTTPSを使用してWebフック アプリケーションにイベント通知を転送するようにONTAPを設定できます。ONTAPはサーバ証明書を使用してWebフック アプリケーションの識別情報を確認するとともに、ネットワーク トラフィックを保護します。

開始する前に

- Webフック アプリケーション サーバの秘密鍵と証明書を生成します。
- ONTAPにインストールするルート証明書を用意します。

手順

1. サーバの秘密鍵と証明書をWebフック アプリケーションをホストするサーバにインストールします。具体的な設定手順は、サーバによって異なります。
2. ONTAPにサーバのルート証明書をインストールします。

   ```
   security certificate install -type server-ca
   ```

   このコマンドでは、証明書を指定するよう求められます。

3. `restapi-ems` 宛先を作成してイベントを受信します：

   ```
   event notification destination create -name restapi-ems -rest-api-url
   https://<webhook-application>
   ```

   上記のコマンドでは、宛先に **HTTPS** スキームを使用する必要があります。

4. `important-events`フィルターを新しい `restapi-ems`宛先にリンクする通知を作成します：

   ```
   event notification create -filter-name important-events -destinations restapi-
   ems
   ```

Webフックの転送先で**HTTPS**相互認証を使用するための設定

HTTPS相互認証を使用してWebフック アプリケーションにイベント通知を転送するようにONTAPを設定できます。この設定では証明書を2つ使用します。ONTAPは、サーバ証明書を使用してWebフック アプリケーションの識別情報を確認するとともに、ネットワーク トラフィックを保護します。加えて、Webフックをホストするアプリケーションは、クライアント証明書を使用してONTAPクライアントの識別情報を確認します。

開始する前に

ONTAPを設定する前に、次の作業を実行する必要があります。

- Webフック アプリケーション サーバの秘密鍵と証明書を生成します。
- ONTAPにインストールするルート証明書を用意します。

- ONTAPクライアントの秘密鍵と証明書を生成します。

手順

1. タスク"Webフックの転送先でHTTPSを使用するための設定"の最初の 2 つの手順を実行してサーバ証明書をインストールし、ONTAP がサーバの ID を検証できるようにします。
2. クライアント証明書を検証するために、適切なルート証明書と中間証明書をWebフック アプリケーションにインストールします。
3. ONTAPにクライアント証明書をインストールします。

   ```
   security certificate install -type client
   ```

   このコマンドでは、秘密鍵と証明書を指定するよう求められます。

4. `restapi-ems` 宛先を作成してイベントを受信します：

   ```
   event notification destination create -name restapi-ems -rest-api-url
   https://<webhook-application> -certificate-authority <issuer of the client
   certificate> -certificate-serial <serial of the client certificate>
   ```

   上記のコマンドでは、宛先に **HTTPS** スキームを使用する必要があります。

5. `important-events`フィルターを新しい `restapi-ems`宛先にリンクする通知を作成します：

   ```
   event notification create -filter-name important-events -destinations restapi-
   ems
   ```

関連情報

- "security certificate install"

廃止された**EMS**イベント マッピングの更新

ONTAP EMSイベント マッピング モデルについて学ぶ

ONTAP 9.0より前は、EMSイベントはイベント名パターンマッチングに基づいてのみイベントの宛先にマッピングできました。このモデルを使用するONTAPコマンドセット（(`event destination`、 `event route`）は、最新バージョンのONTAPでも引き続き使用できますが、ONTAP 9.0以降は廃止されています。

ONTAP 9.0 以降、ONTAP EMS イベント宛先マッピングのベスト プラクティスは、 `event filter`、`event notification`、および `event notification destination`コマンド セットを使用して複数のフィールドでパターン マッチングを実行する、よりスケーラブルなイベント フィルタ モデルを使用することです。

EMS マッピングが非推奨のコマンドを使用して構成されている場合は、 `event filter`、 `event notification`、および `event notification destination`コマンド セットを使用するようにマッピングを更新する必要があります。 `event`の詳細については、"ONTAPコマンド リファレンス"を参照してください。

イベントの送信先には次の2種類があります。

1. システム生成の宛先：システム生成のイベント宛先は 5 つあります（デフォルトで作成されます）
    - `allevents`
    - `asup`
    - `criticals`
    - `pager`
    - `traphost`

    システム生成の宛先の一部は特別な目的に使用されます。例えば、asup 宛先は callhome.* イベントを ONTAP の AutoSupport モジュールにルーティングして、AutoSupport メッセージを生成します。
2. ユーザー作成の宛先： `event destination create`コマンドを使用して手動で作成されます。

```
cluster-1::event*> destination show
                                                                    Hide
Name              Mail Dest.        SNMP Dest.         Syslog Dest.
Params
---------------- ----------------- ------------------ ------------------
------
allevents         -                 -                  -
false
asup              -                 -                  -
false
criticals         -                 -                  -
false
pager             -                 -                  -
false
traphost          -                 -                  -
false
5 entries were displayed.
+
cluster-1::event*> destination create -name test -mail test@xyz.com
This command is deprecated. Use the "event filter", "event notification
destination" and "event notification" commands, instead.
+
cluster-1::event*> destination show
+
Hide
Name              Mail Dest.        SNMP Dest.         Syslog Dest.
Params
---------------- ----------------- ------------------ ------------------
------
allevents         -                 -                  -
false
asup              -                 -                  -
false
criticals         -                 -                  -
false
pager             -                 -                  -
false
test              test@xyz.com      -                  -
false
traphost          -                 -                  -
false
6 entries were displayed.
```

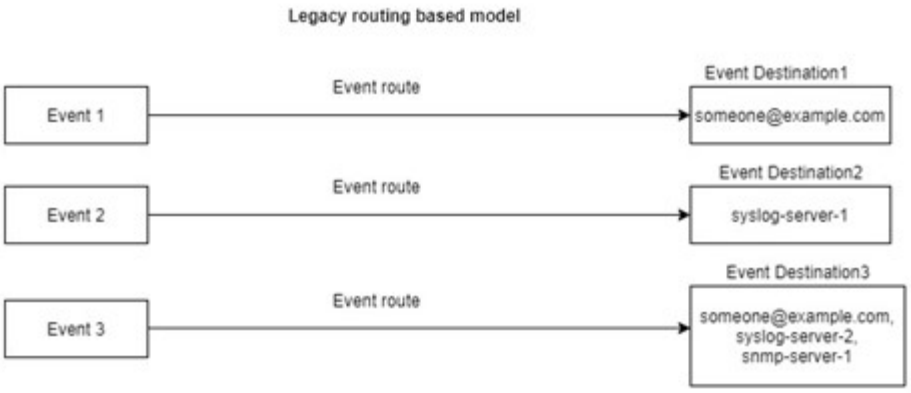
非推奨のモデルでは、EMS イベントは `event route add-destinations`コマンドを使用して個別に宛先にマッピングされます。

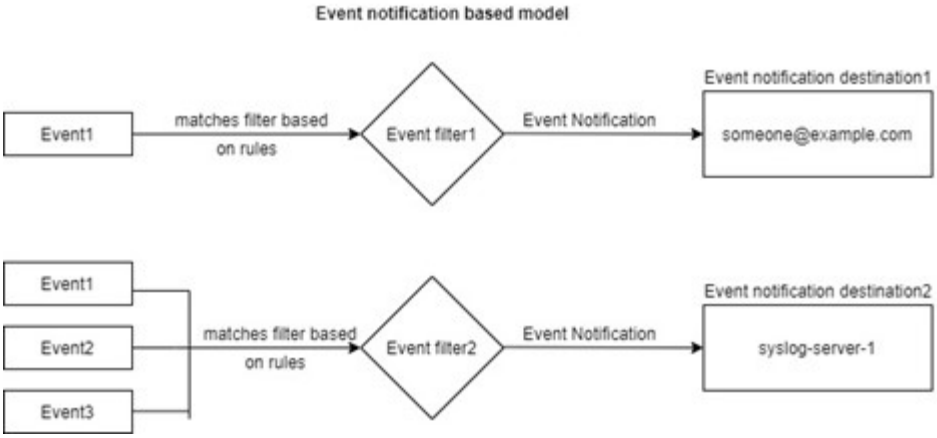
```
cluster-1::event*> route add-destinations -message-name raid.aggr.*
-destinations test
This command is deprecated. Use the "event filter", "event notification
destination" and "event notification" commands, instead.
4 entries were acted on.

cluster-1::event*> route show -message-name raid.aggr.*
                                                                  Freq
Time
Message                          Severity       Destinations   Threshd
Threshd
-------------------------------- -------------- -------------- -------
-------
raid.aggr.autoGrow.abort         NOTICE         test           0       0
raid.aggr.autoGrow.success       NOTICE         test           0       0
raid.aggr.lock.conflict          INFORMATIONAL  test           0       0
raid.aggr.log.CP.count           DEBUG          test           0       0
4 entries were displayed.
```

拡張性に優れた新しいEMSイベント通知メカニズムでは、イベント フィルタとイベント通知送信先を使用します。新しいイベント通知メカニズムの詳細については、次の技術情報アーティクルを参照してください。

- "ONTAP 9のイベント管理システムの概要"





廃止されたコマンドからの **ONTAP EMS** イベント マッピングを更新します

EMS イベント マッピングが現在、廃止された ONTAP コマンド セット(`event destination` `event route`を使用して設定されている場合、次の手順に従って `event filter` `event notification`および `event notification destination`コマンド セットを使用するようにマッピングを更新する必要があります。

手順

1. `event destination show`コマンドを使用して、システム内のすべてのイベントの宛先を一覧表示します。

```
cluster-1::event*> destination show

Hide
Name              Mail Dest.         SNMP Dest.          Syslog Dest.
Params
---------------- ----------------- ------------------ ------------------
------
allevents         -                  -                  -
false
asup              -                  -                  -
false
criticals         -                  -                  -
false
pager             -                  -                  -
false
test              test@xyz.com       -                  -
false
traphost          -                  -                  -
false
6 entries were displayed.
```

2. 各宛先について、 `event route show -destinations <destination name>` コマンドを使用して、その宛先にマップされているイベントを一覧表示します。

```
cluster-1::event*> route show -destinations test
                                                                    Freq
Time
Message                           Severity       Destinations   Threshd
Threshd
-------------------------------- -------------- -------------- -------
-------
raid.aggr.autoGrow.abort          NOTICE         test           0       0
raid.aggr.autoGrow.success        NOTICE         test           0       0
raid.aggr.lock.conflict           INFORMATIONAL  test           0       0
raid.aggr.log.CP.count            DEBUG          test           0       0
4 entries were displayed.
```

3. `event filter`これらのイベントのサブセットをすべて含む、対応するフィルターを作成してください。例えば、 `raid.aggr.*`イベントのみを含める場合は、フィルターの作成時に `message-name`パラメータにワイルドカードを使用します。また、単一のイベントに対してフィルターを作成することもできます。

`event filter`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=event+filter["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

イベント フィルタは50個まで作成できます。

```
cluster-1::event*> filter create -filter-name test_events

cluster-1::event*> filter rule add -filter-name test_events -type
include -message-name raid.aggr.*

cluster-1::event*> filter show -filter-name test_events
Filter Name Rule     Rule      Message Name           SNMP Trap Type
Severity
            Position Type
----------- -------- --------- ---------------------- ---------------
--------
test_events
            1        include   raid.aggr.*            *               *
            2        exclude   *                      *               *
2 entries were displayed.
```

4. `event notification destination`各 `event destination`エンドポイント（SMTP/SNMP/syslog）ごとに作成します。

```
cluster-1::event*> notification destination create -name dest1 -email
test@xyz.com

cluster-1::event*> notification destination show
Name            Type        Destination
--------------  ----------  --------------------
dest1           email       test@xyz.com (via "localhost" from
"admin@localhost", configured in "event config")
snmp-traphost   snmp        - (from "system snmp traphost")
2 entries were displayed.
```

`event notification destination`および `event destination`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=event+destination["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。

5. イベント フィルタをイベント通知の送信先にマッピングして、イベント通知を作成します。

```
cluster-1::event*> notification create -filter-name asup_events
-destinations dest1

cluster-1::event*> notification show
ID   Filter Name                      Destinations
---- -------------------------------  -----------------
1    default-trap-events              snmp-traphost
2    asup_events                      dest1
2 entries were displayed.
```

6. `event route`マッピングがある `event destination`ごとに手順1～5を繰り返します。

SNMP 宛先にルーティングされるイベントは、 `snmp-traphost`イベント通知宛先にマッピングする必要があります。SNMP トラップホスト宛先は、システムで設定された SNMP トラップホストを使用します。

```
cluster-1::event*> system snmp traphost add 10.234.166.135

cluster-1::event*> system snmp traphost show
        scspr2410142014.gdl.englab.netapp.com
(scspr2410142014.gdl.englab.netapp.com) <10.234.166.135>    Community:
public

cluster-1::event*> notification destination show -name snmp-traphost

               Destination Name: snmp-traphost
             Type of Destination: snmp
                     Destination: 10.234.166.135 (from "system snmp
traphost")
 Server CA Certificates Present?: -
   Client Certificate Issuing CA: -
Client Certificate Serial Number: -
       Client Certificate Valid?: -
```